

様式2 (介護ロボット等モニター調査事業 要望書)

平成30年9月21日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

(要望者)

〒110-8560

住所 東京都台東区台東1-5-1

事業者名 凸版印刷株式会社

担当者所属 生活・産業事業本部 環境デザイン事業部

担当者名 木村 信之

電話番号 03-3835-6462

電子メールアドレス nobuyuki.kimura@toppan.co.jp



介護ロボット等モニター調査事業 要望書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行う「介護ロボット等モニター調査事業」について、下記の書類を添付して要望します。

記

1. 介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書 (別紙)
2. 会社概要 (任意様式)
3. これまでの介護ロボット等に関わる開発実績がわかる書類 (任意様式)
※) 実績がない場合は、提出不要

(本書類の取扱いと留意事項について)

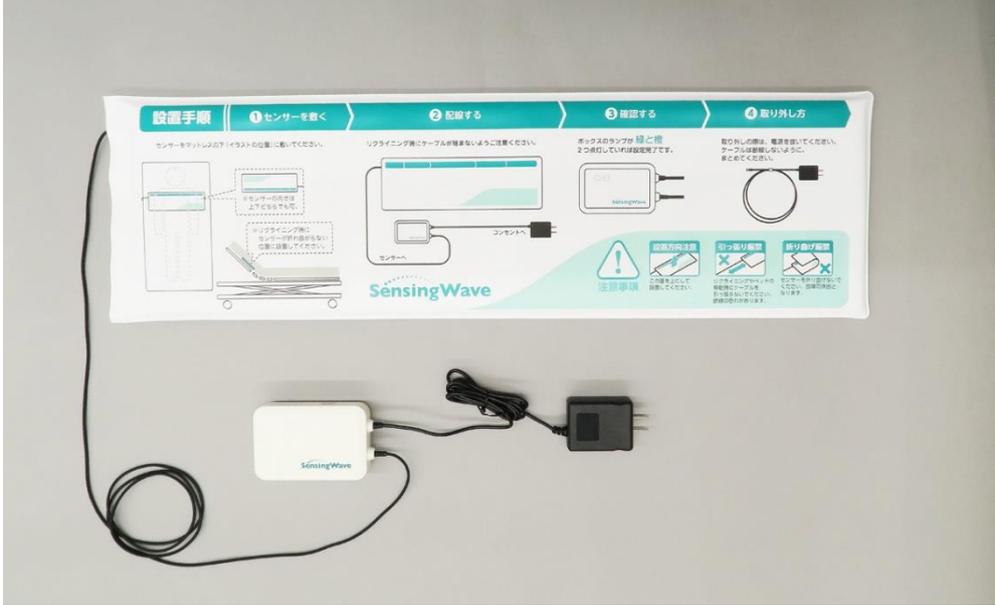
- ご提出いただく「介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書 (別紙)」は、介護施設等とマッチングする際、当協会のホームページを通じて、介護施設等へ公開いたします。従って、記載する内容は、公開可能な範囲で差し支えありませんが、具体的な記載がない場合には、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご了承ください。
- 適切なお協力がいただける介護施設等とマッチングするためにも、記載内容は技術的な事に偏らず理解しやすいものとしてください。
- 当協会では記載内容や本事業に関わる各種の相談を承っております。
- 案件によっては、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご留意ください。

介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書

1. 申請者（企業）の概要

企業名	凸版印刷株式会社	
担当者名	木村 信之	
担当者連絡先	住所	〒110-8560 東京都台東区台東1-5-1
	電話	03-3835-6462
	電子メールアドレス	nobuyuki.kimura@toppan.co.jp
主たる業種	印刷業 製造業	
主要な製品	セキュア商材(ICカード等)、包装資材、建装材(壁材・床材)	
希望する施設等の種類や職種等	「在宅系」 居宅サービス事業者(訪問介護、訪問看護) 「施設系」 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホーム、有料老人ホーム	
その他		

2. 申請機器の概要 (可能な限り詳しくご記入ください。)

機器の名称(仮称)	SensingWave介護見守りシステム
機器の概要 (写真を添付すること)	<p>想定する使用者、使用場面 被験者は要支援～要介護で、何かしらの介護や看護が必要なご老人を対象に検討している。 被験者のベッドのマットレスの下に敷いてもらい、日々の睡眠を測定する。 ベッドは施設内のベッドでも、自宅のベッドでも良い。</p> <p>機能と使用方法、有用性</p>  <p>SensingWave はベッドのマットレスの下に敷くだけで、非接触で「心拍数・呼吸数・体動(寝返り)・睡眠の質(深い/浅い)」が計測できる生体センサーである。</p>

	<p>ベッドのマットレスは 20cmの厚さまで対応可能。</p> <p>SensingWave はモバイルルーターを接続し、直接クラウドに情報を送ることができる。そのため、施設内のみならず在宅でも使用することが可能である。</p> <p>ベッドのマットレスの下に SensingWave を敷き、電源をコンセントに入れるだけで計測が開始されるので簡単に設置可能。</p> <p>データはリアルタイムにクラウド上のデータベースに蓄積される。 日付を指定して過去のデータも見ることができ、過去のデータは最大 6 ヶ月間保管される。</p> <p>クラウドサービスなので、被験者本人のみならず、遠隔地の家族や、施設内の職員も被験者のデータを確認することができる。</p> <p><u>類似する機器との相違</u> 類似する製品には、睡眠を測定する機器が複数存在するが、これらのセンサーは睡眠と言っても「寝ている（入眠）」「起きている（覚醒）」しか測定できない。 しかし、弊社のSensingWaveは睡眠の深さ/浅さが測定できるので、睡眠の質まで計測することができる。もちろん「寝ている（入眠）」「起きている（覚醒）」も計測でき、合計の睡眠時間もレポート表示される。</p> <p>また、SensingWaveを活用することでベッドにいる（入床）、いない（離床）も分かる。「離床」に関しては「離床センサー」が他社から販売されているが、これらのセンサーは「離床」しか測定できず、睡眠については測定不可である。</p> <p>SensingWaveは入床・離床・睡眠の深さ/浅さと、睡眠中の「心拍数」「呼吸数」も計測できるので、日々の健康管理に幅広く活用できる。</p> <p>睡眠の見える化に関しては、山形大学と開発した独自のアルゴリズムを構築。数値化することで、睡眠の浅い/深いをモニタリングできる。 ※脳波デルタ波との相関性がある。</p> <p>寝る姿勢やエアマットレスに関わらず、データ取得が可能です。</p> <p>クラウドシステムを活用することで、他社機器との連携も可能であり、システム連携によるさらなる業務効率化が実現できます。</p>
現在の開発状況と課題	<p><u>当該機器と介護業務との関連性</u> 要介護者の日常モニタリング 夜間巡視の際に、「離床」「覚醒」「睡眠中」を確認し、負担軽減</p>
	<p><u>機器に関するリスクアセスメント（性能安全と利用安の確保対策）</u> ※アセスメント結果を添付して下さい。 別紙、「信頼性試験実施報告書_Rev2.0」参照。</p> <p><u>社内や社外モニター調査の実績</u> ※実績ありの場合は、その結果を添付して下さい。</p>

開発に関する当面の課題

施設や在宅介護の現場で、センサーを導入する際に、何が問題なのか、使い勝手はどうか、というヒアリングが不十分である。

例えば、「ベッドマットレスの下に敷くのであれば、コードレスにして欲しい」など。

また、SensingWaveを導入したことで改善できた点、できなかった点についてのヒアリングも不十分である。

特に、「心拍数」「呼吸数」などのバイタルデータを計測するので、個人情報の観点から被験者に同意をもらうことが難しく、被験者のQOL調査が不十分である。

3. モニター調査したい内容（協力施設等へお願いしたい内容）

※募集要項のP7を参考にモニター調査したい内容を具体的に記載してください。

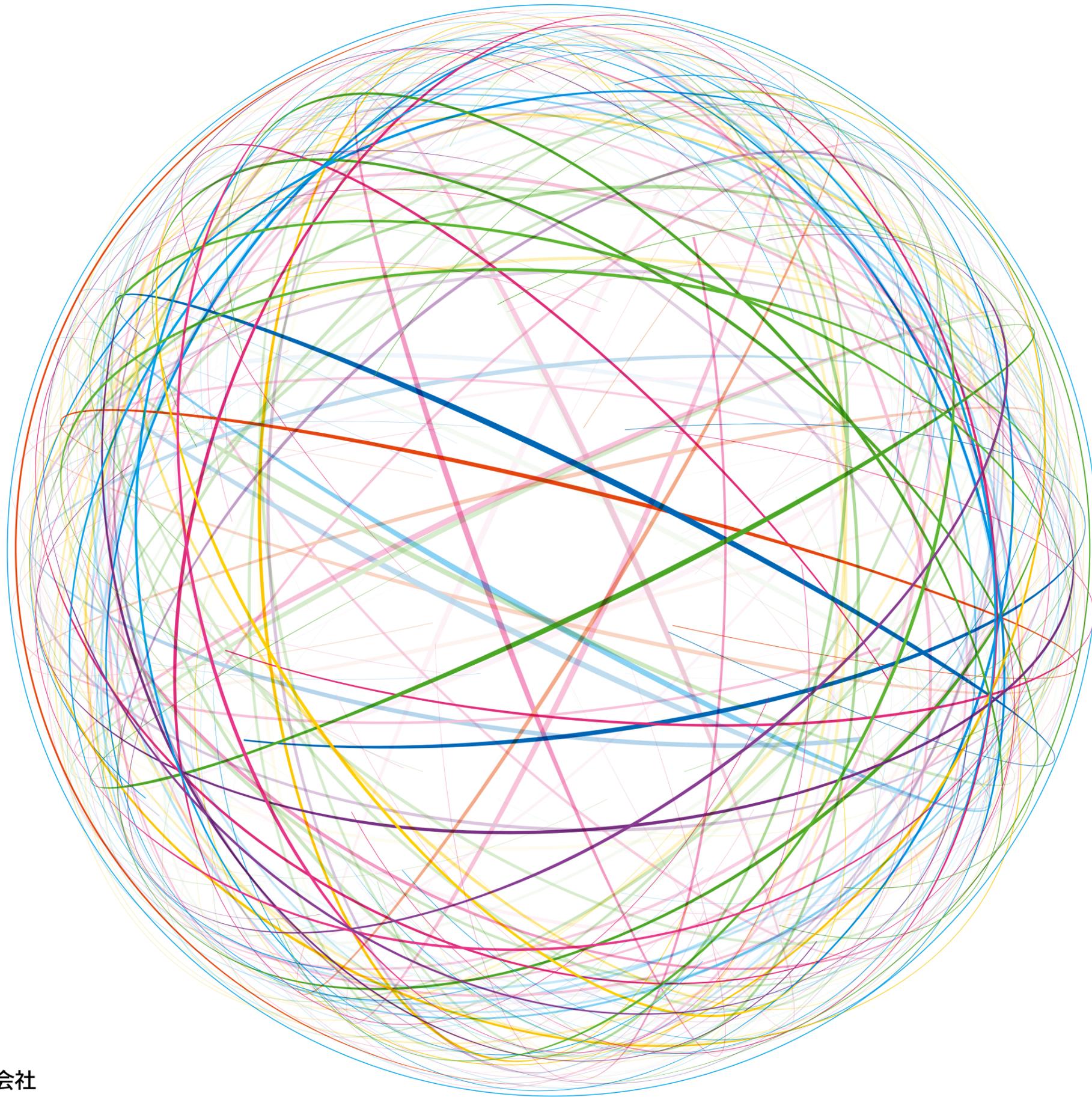
（実施しない項目は「特になし」としてください。）

※モニター調査検討委員会等の審議により採択された場合には、協会及び専門家によるアドバイスをを行います。

<p>1. 利用対象者の適用範囲に関すること</p>	<p>■調査手法 観察法、インタビュー法</p> <p>■指標 要介護度、ケアプラン、ベッド利用の状態・時間、コミュニケーション能力</p>
<p>2. 利用環境の条件に関すること</p>	<p>■調査手法 観察法</p> <p>■指標 ベッドが設置されている部屋の広さ、ベッドの位置などの環境</p>
<p>3. 機器の利用効果に関すること</p>	<p>■調査手法 観察法、インタビュー法</p> <p>■指標</p> <p>①介護を受ける側への効果 ・ QOL変化</p> <p>②介護者の負担軽減 ・ 夜間の巡回の変化 ・ 就業時間の変化</p> <p>③介護サービス（ケアプラン）の変化 ・ 夜間の睡眠状態により、日中のアクティビティの変化 ・ 前日の睡眠状態により、就寝時間の変化、昼寝の有無</p>
<p>4. 機器の使い勝手に関すること</p>	<p>■調査手法 観察法、インタビュー法</p> <p>■指標</p> <p>①介護を受ける側への質問 ・ WEBアプリの使い勝手 ・ SensingWaveの使い勝手</p> <p>②介護者への質問 ・ WEBアプリの使い勝手 ・ SensingWaveの使い勝手 ・ 介護を受ける側の変化状態</p> <p>③介護を受ける人のご家族への質問 ・ WEBアプリの使い勝手</p>

5. 介護現場での利用の継続性に関すること	使い勝手や、データの有用性を理解してもらえれば、継続して使用してもらえる。
6. その他	

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。



印刷テクノロジーで、世界を変える。

社会的課題解決のための 「トータルソリューション」を開発・提供し、 ふれあい豊かなくらしに貢献します

現在、テクノロジーの急激な進化と社会の価値観が劇的に変化するパラダイムシフトがあらゆる産業で起きています。いまやITが人々の生活に見えない形で溶け込み、快適な生活環境を提供する時代になっています。まさに「情報革命」が加速しつつあるなか、日本の企業はデジタルトランスフォーメーション(デジタルによる事業構造の変革)を実行フェーズに移しつつあります。

このような環境のなか私たちトッパンは、「情報コミュニケーション」「生活・産業」「エレクトロニクス」の3事業分野でコラボレーションを図り、「トータルソリューション」を開発・提供することによって、お客さまや社会の課題解決に取り組んでおります。また、創業以来、印刷をなりわいとしながら、多くのお客さまのさまざまなご要望にお応えしていく過程を通して、高度な印刷技術やマーケティング・ITなど多種多様な知識やノウハウを融合、体系化し、当社独自のリソースである「印刷テクノロジー」の確立を進めてまいりました。

今後私たちは、パラダイムシフトした社会において、ビジネスモデルの変革を積極的に進め、企業価値の向上を目指してまいります。特に、「観光立国」「サステナブルパッケージ」「まちづくり」「医療・医薬」「地方創生と健康増進」など、さまざまな社会的課題に対してトッパングループの強みを結集して解決を図り、さらに先進的な「印刷テクノロジー」によって、“100年後の未来”に向けた新たな価値創りを推進してまいります。

トッパンは、企業理念である「情報・文化の担い手としてふれあい豊かなくらしに貢献」することを旨としながら、お客さまとの共創を通じて「情報」と「くらし」がもつ可能性をデザインし、「社会的価値創造企業」として、さらなる発展を目指してまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

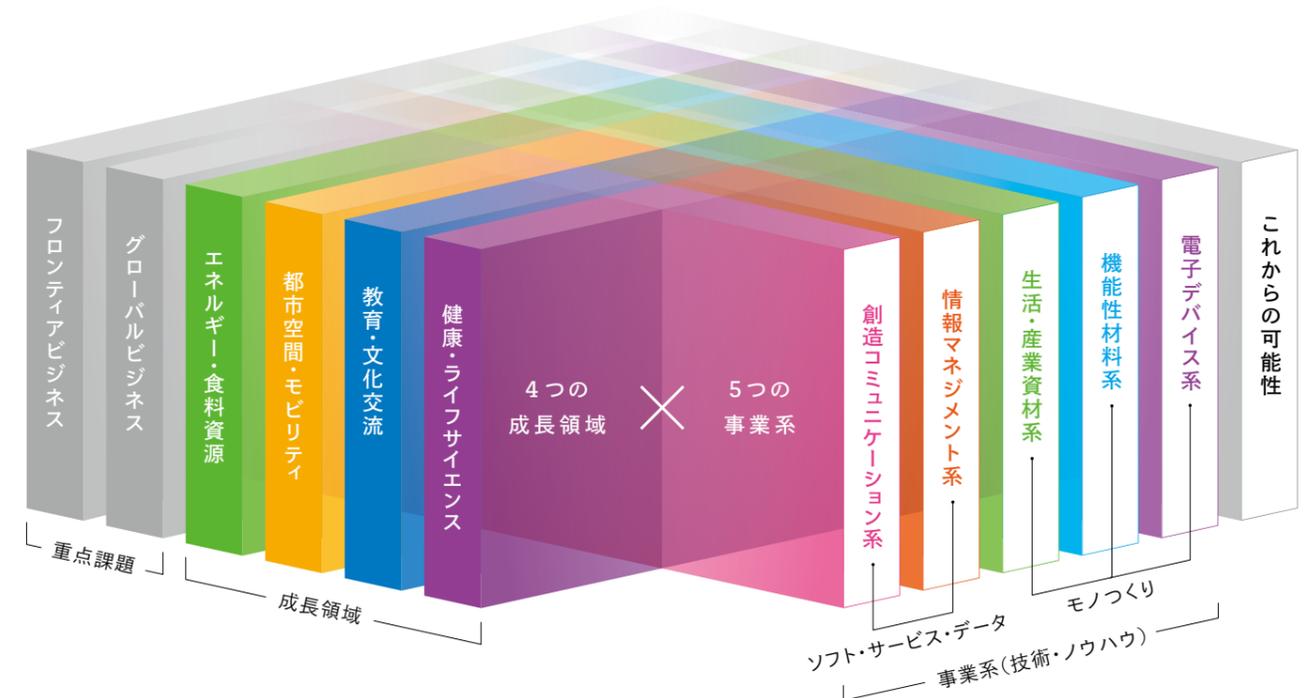
代表取締役社長 **金子真吾**

企業理念

私たちは
常にお客さまの信頼にこたえ
彩りの知と技をもとに
こころをこめた作品を創りだし
情報・文化の担い手として
ふれあい豊かなくらしに貢献します

トッパンの 4つの成長領域と 5つの事業系

トッパンでは、重点的に取り組むべき4つの成長領域を設定し、それらに技術・ノウハウから成る5つの事業系を掛け合わせ、さらにグローバル、未開拓の分野に進出していくことで、社会的価値を創造していきます。



可能性をデザインする

未来の価値を見だし、企画・設計して、実現していく

歴史とともに培われた 技術と知識で挑む「社会的価値創造企業」

1900年、当時の最先端印刷技術「エルハート凸版法」をもってトッパンは創業しました。その後幅広い分野に印刷の領域を拡大し、技術・ノウハウを培ってきました。そして、その印刷技術を進化・発展させ、1959年にエレクトロニクス事業へ進出、1961年には企画制作・マーケティング部門を設立するなど、さまざまな変革を遂げてきました。そうして培われた印刷テクノロジーをベースに、トッパンは2025年を目標に社会的価値創造企業という新たな企業像に向けて、挑戦を続けていきます。

1900



1900
煙草包紙



(1904 大阪商船株券)



1901
商業印刷



1902
証券印刷



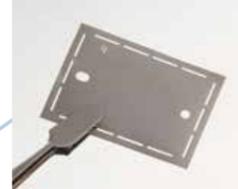
1907
出版印刷



1961
サービスセンター開設
(現トッパンアイデアセンター)



1963
香港工場操業開始



1959
メサ型トランジスタ
製造用マスク



1964
海外駐在員事務所開設(N.Y.)



1938
軟包材



1956
建築材



創業



1986
総合研究所竣工



1997 VR
VR作品『唐招提寺〜金堂の技と鑑真和上に捧ぐ御影堂の美〜』
■製作・著作:凸版印刷株式会社/TBS ■監修:鈴木嘉吉・大山明彦 ■協力:唐招提寺 ※データ提供:独立行政法人 情報処理推進機構 先進的アーカイブ映像製作支援整備事業より

2025



1986
GL FILM



2011
総合電子書籍ストア「BookLive!」オープン



2017 台湾Giantplusを買収

2000

創業100周年
TOPPAN VISION21制定



2001
電子チラシ
ポータルサイト「Shufoo!(シュフー)」



2016 BPOスクエア朝霞設立



2000
トッパン 小石川ビル竣工



2016
トッパンホール



2016
TOPPAN USA
ジョージア工場竣工



2003 ICビジネス



2014
群馬センター工場竣工



印刷博物館



2008
シンガポール
大手印刷会社SNP社を買収
(2009年「トッパンリーフオン」に社名変更)

観光立国支援

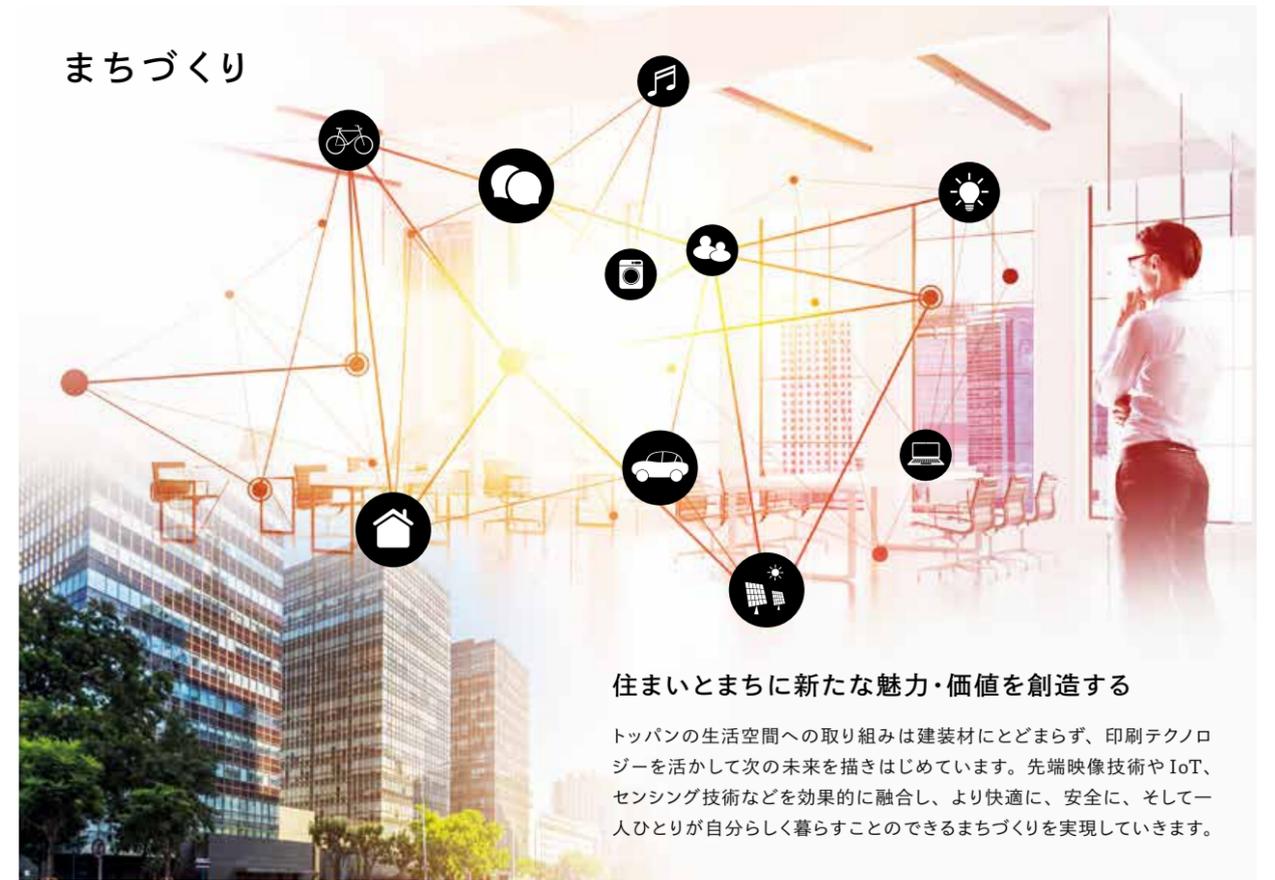


ストリートミュージアム

“VR×文化財”で 新たな観光価値と 継承活動を実現

歴史ある日本の文化財の多くが経年劣化や消失のリスクにさらされています。トッパンは、バーチャルリアリティ技術で、文化財の色や形を精確にデジタルアーカイブし、コンテンツとして提供するソリューションを展開。観光立国支援と後世への継承活動を実現しています。

まちづくり



トッパンのまちづくり

住まいとまちに新たな魅力・価値を創造する

トッパンの生活空間への取り組みは建築材にとどまらず、印刷テクノロジーを活かして次の未来を描きはじめています。先端映像技術やIoT、センシング技術などを効果的に融合し、より快適に、安全に、そして一人ひとりが自分らしく暮らすことのできるまちづくりを実現していきます。

先進的な印刷テクノロジーで創られる、

100年後の未来に向けた新たな価値

サステナブルパッケージ



紙製飲料容器「カートカン®」

世界中のパッケージを、 環境にやさしく

持続可能な社会を目指すために、製品のライフサイクル全体を通じたパッケージの最適化設計および、間伐材や循環型のリサイクル素材などの持続可能な資源の利用を行い、製品の環境負荷削減とお客さまの事業の成長を両立させる環境配慮型パッケージを提案しています。

医療・医薬

安心安全な医療・医薬用包材で 社会課題の解決をサポート

GL BARRIERを用いた医療・医薬用包材は、効能・薬効の保持や衛生管理に効果を発揮。今後、重要性が増す在宅介護での使いやすさや発展途上国での医療の安全性向上に貢献します。

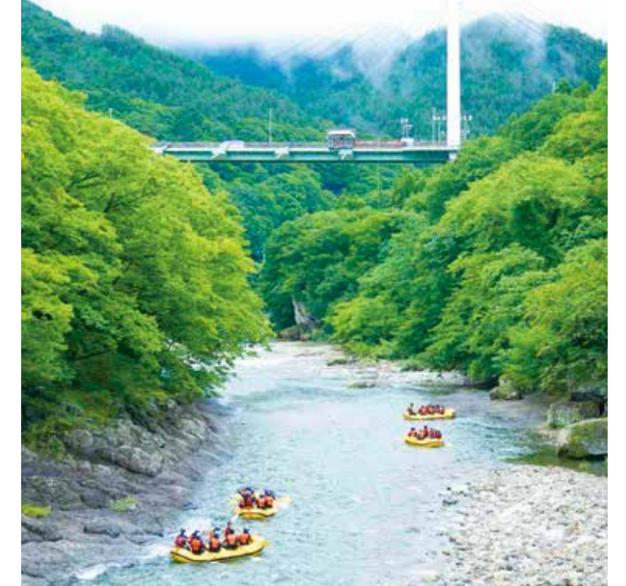


GL BARRIERを用いた医療・医薬用包材

地方創生と健康増進

2つのテーマで日本中を健康に

観光資源を活かしたヘルスツーリズム、まちしごとづくりに向けたりサーチ&ワークショップなど、独自のノウハウを活かした施策で地方創生とヘルスケアに関するソリューションを展開しています。



みなかみヘルスツーリズム協働プロジェクト

事業領域

3事業分野のコラボレーションで社会的価値を創造する

トッパンの事業分野は「情報コミュニケーション」「生活・産業」「エレクトロニクス」の3つに分けられます。トッパンの強みである「印刷テクノロジー」をベースに、それぞれの事業分野は発展、多角化してきました。多様な課題への対応が求められる現代において、3事業分野のコラボレーションによるトータルソリューションを提供することで、多くのお客さまや社会の課題解決を行っていきます。



情報
コミュニケーション



生活・産業

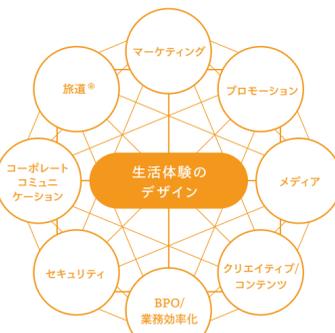


エレクトロニクス

次世代型コミュニケーションモデルを「生活体験のデザイン」で創造する

高速で変化する情報環境のなかで、コミュニケーションの形を常にアップデートする必要があります。私たちは、こうした課題をマーケティング、クリエイティブ、セキュリティなど多彩な知見を組み合わせたトータルソリューションによる「生活体験のデザイン」で解決。私たちの持つリソースやノウハウを活用した新しい情報コミュニケーション構造の構築により、お客さまのデジタルトランスフォーメーションを支援していきます。

Experience Design Company



■ SpeedEntry® Mobile



金融機関の口座開設申込、マイナンバーや本人確認書類提出などの手続きをいつでもどこでも可能にするスマートフォンアプリです。

■ Shufoo!® (シュフー)



月間1000万人(2018年2月末時点)が利用する日本最大級の電子チラシサービス。主に買い物関心度が高い30~40代の主婦層に情報が届きます。

■ 旅道®



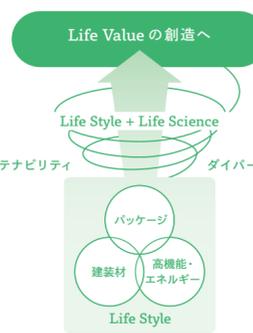
「何度も旅したくなる日本」をコンセプトに、さまざまな企業/団体とともに、観光立国・地方創生の実現を目指す取り組みです。

【その他の代表的なソリューション】 証券類全般、ギフト券、ビジネスフォーム、ICカード、ホログラムなど偽造防止デバイス、BPO(各種業務受託)、ポスター、カタログ、POP、メディアサービス、雑誌、付録の企画・製造、単行本、電子書籍関連 ほか

未来の「豊かなくらし」の実現に向けて「ライフバリュー」を創造する

「パッケージ」「建築材」「高機能・エネルギー」。3つの分野において長年培ってきたテクノロジーは、サステナビリティ(持続可能性)・ダイバーシティ(多様性)のコンセプトのもと、ライフスタイルのご提案からライフサイエンス分野にまで領域を広げています。これらのテクノロジーを進化・融合させ、総合力を発揮することにより、私たちはお客さまとともに、「ライフバリュー」の創造、すなわち、ひとびとが生き生きとくらす「まちづくり」を見据えたソリューションを展開します。

Life Value Company

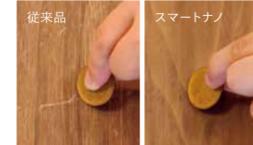


■ GL BARRIER



優れたバリア性能、透明性、非金属材料などの機能面と高い環境適性が評価され、透明蒸着フィルムの世界トップシェア製品として全世界で販売されています。

■ Smart NANO®



ナノ化技術の世界で初めて建築材分野に採用したSmart NANOテクノロジーにより、化粧シートとして最高水準の表面性能を実現しました。

■ 楽ラレンジシリーズ



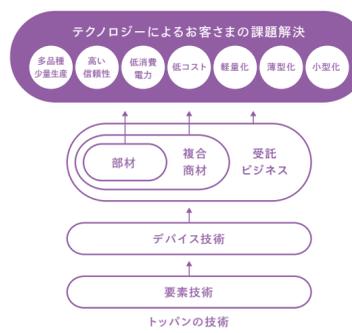
当社が開発した電子レンジ用機能包材シリーズです。電子レンジにかけるだけで機能が発現し、「煮る」「焼く」「蒸す」などの本格調理を可能にして、生活者の時短や簡便調理のニーズにこたえます。

【その他の代表的なソリューション】 軟包装、紙器、プラスチック成形品、液体複合容器、コントラクト・受託充填、マーケティング・商品企画、UDコンサルティング、化粧紙、壁紙、床材、インテリア部材、エクステリア部材、エレクトロニクス包材、リチウムイオン二次電池関連部材、プリンタ用記録メディア、精密加工・外装加飾部品 ほか

テクノロジーを基盤とする先進的なソリューションで社会的課題を解決する

積み重ねてきた技術力を基盤とし、多様化するお客さまの“未来”のニーズに対応。表面加工やフォトリソなどトッパンの要素技術を追求し、マーケットと対話できる技術開発体制を構築することで、部材提供にとどまらないトータルソリューションを提案します。また、アジア、ヨーロッパ、アメリカにも生産拠点を構えており、場所を問わずタイムリーに最高品質の製品を提供可能。激しい変化への対応が求められる国内外のエレクトロニクスビジネス領域のお客さまのために、新たな価値を創造し続けます。

Technology Design Company



■ 半導体フォトマスク



タブレットやスマートフォンなど、さまざまな精密機器をより便利に進化させるための半導体の微細加工技術。

■ カラーフィルタ



ディスプレイの画質を左右する高品質なカラーフィルタを、トッパンが得意とする微細加工技術を活用しさまざまな用途向けに提供します。

■ LC MAGIC



電気のON/OFFで「透明」「不透明」を瞬時に切り替え可能な機能性フィルム。世界最高レベルの透明性と遮断性を持ちます。

【その他の代表的なソリューション】 LCD用大型フォトマスク、反射防止フィルム、銅タッチセンサー、有機EL用メタルマスク、オンチップカラーフィルタ、半導体パッケージ製品、エッチング応用製品、LSIデザイン、ナノインプリントソリューション ほか

コミュニケーションスペース

ここでなら、
答えが見つかる。



■ WAO-KOISHIKAWA® (小石川)

WAOは、オープンイノベーションを生み出すためのワークスペース。多様な知恵やリソースが交ざり合い、可能性をカタチにしていくための共創空間です。

課題解決のための
トータルソリューションをご提案

■ PLAZA21 (秋葉原・小石川・各拠点)

「PLAZA21」では、トッパンが提供する製品やソリューションを総合的に展示しており、体験を通して、お客さまの課題解決に向けたトータルソリューションをご提案します。全国にも展開しており、各拠点エリアの特徴に合わせた展示などを行っています。

PLAZA 21



〈秋葉原〉



〈小石川〉



〈札幌〉



〈仙台〉



〈名古屋〉



〈大阪〉



〈福岡〉

※ご見学は担当営業までお問い合わせください。

観光立国・地方創生の共創・発信スペース



NIPPON GALLERY
TABIDO MARUNOUCHI

■ NIPPON GALLERY TABIDO MARUNOUCHI (丸の内)

「NIPPON GALLERY TABIDO MARUNOUCHI」は、観光立国・地方創生の実現に向けて、日本各地にある国宝や重要文化財、観光資産の魅力を最先端の表現技術を用いて体験できる、情報発信と価値創造の共創拠点です。



※ご見学は担当営業までお問い合わせください。

専門領域に特化した共創空間



■ L・IF・E (秋葉原)

共創空間「L・IF・E」(ライフ)は、もしも=ifから発想し、未来の生活者のくらし=Lifeを、お客さまと共に描き、共に創るための空間です。パッケージ・建築材をはじめとするトッパンのソリューションを多数ご用意しています。

<p>M-T CROSSING</p> <p>社会課題と技術の組み合わせによるソリューションアイデアの創出体験</p>	<p>PACKAGE◆UM</p> <p>パッケージソリューションのご紹介</p>
<p>FOREST</p> <p>建築材ソリューションのご紹介</p>	<p>NEXT LIFE</p> <p>トッパンが考える「少し先のLIFE」のご提案</p>



※ご見学は担当営業までお問い合わせください。

文化活動におけるコミュニケーションスペース (小石川)

■ 印刷博物館

印刷の歴史的な役割や意義を広く社会に発信することを目的にトッパンが運営する博物館。常設展や企画展を行う本展示場、P&Pギャラリー、印刷工房などがあります。



■ トッパンVRシアター

トッパンの高精細画像処理技術、カラーマネジメント技術および立体形状計測技術による文化財VRをご体験いただき、新しい事業を創造するシアタールームです。



■ トッパンホール

多くの木材を使った空間、一体感を生むステージ、ゆとりのある客席が特徴のコンサートホールで、お客さまや国内外のアーティストなどから高評価を得ています。



VR作品『故宮VR《紫禁城・天子の宮殿》』
■製作・著作:故宮博物院/凸版印刷株式会社

研究開発

「印刷テクノロジー」の進化・融合で革新を起こす

総合研究所では既存事業の収益力強化や環境経営の推進とともに、新市場を創出し高収益な製品を継続して市場投入するために研究開発を行っています。「基盤研究」「商品開発」「技術支援」の3つの研究開発テーマに加え、国内外の企業や大学・研究機関との共同研究を推進し、基盤技術の強化や次世代に向けた研究開発も同時に行っています。



総合研究所と事業開発部門の連携で生み出す新たなソリューション

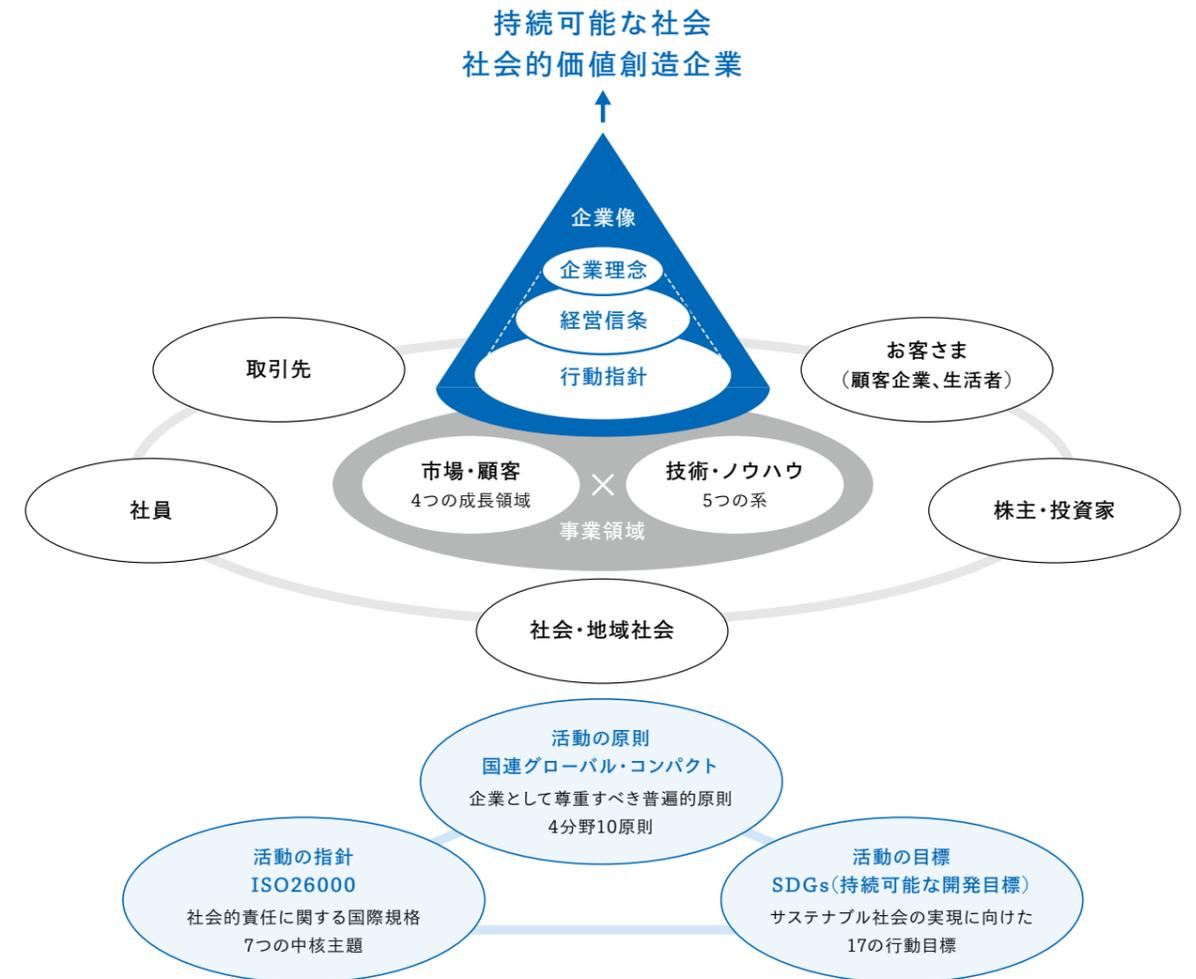
トッパンの研究開発は総合研究所を中心に行われています。総合研究所は、「印刷テクノロジー」をコアに新たな事業創出に必要な新規技術に挑戦し、保有技術の幅を広げ深める「基盤技術研究所」と、オリジナリティの高い製品や競争優位性のある商材を創り出すための技術開発を行う「事業開発研究所」の2研究所から構成されています。これらの研究開発を進めるにあたり、国内外の有力企業や大学、研究機関との共同研究も積極的に行っています。総合研究所は、このような活動からさまざまな「印刷テクノロジー」を融合させて技術を高め、事業開発部門と連携し技術・市場両方の視点から新たなソリューションを提案しています。



トッパンのCSR

社会から信頼され、尊敬される企業を目指す

トッパンは、「国連グローバル・コンパクト」を原則とし、組織の社会的責任に関する国際規格「ISO26000」を指針として活動を進めています。「ISO26000」は、組織が取り組むべき事項として、組織統治、人権、労働慣行、環境、公正な事業慣行、消費者課題、コミュニティへの参画およびコミュニティの発展からなる「7つの中核主題」を掲げています。



2017年度DJSI Worldに初選定

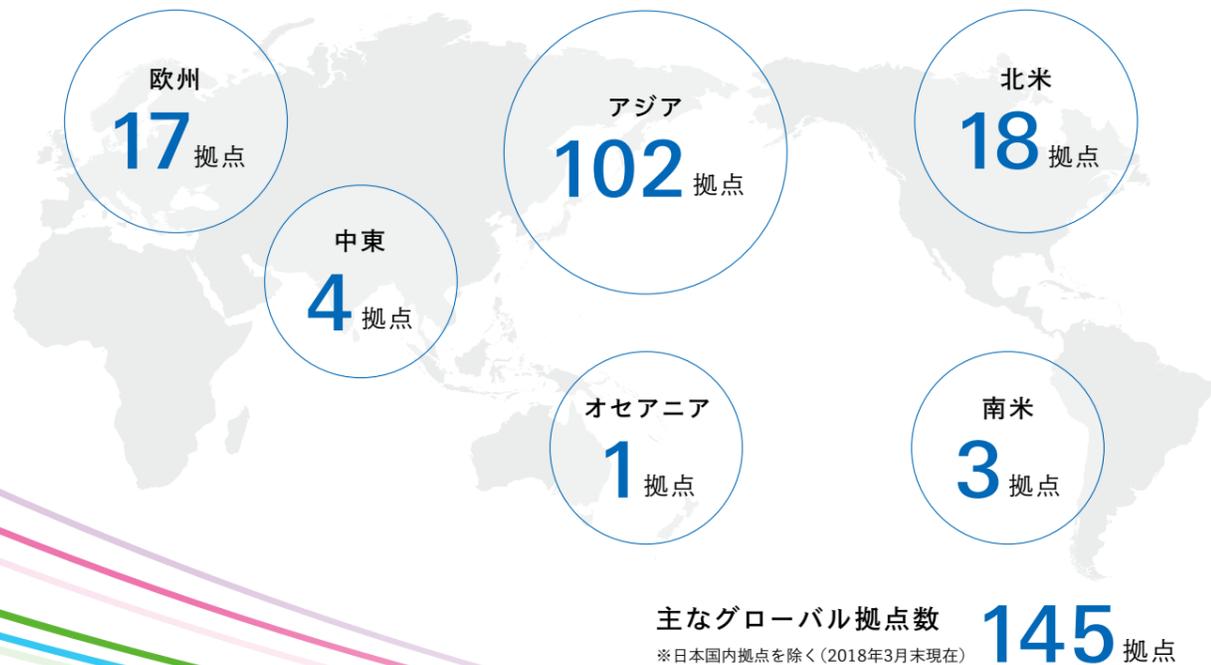
トッパンは、世界的に権威のある社会的責任投資指標であるDJSI World*の構成銘柄に今回初めて選定されました。DJSI Worldは、経済・環境・社会の3つの側面から企業活動を分析し、サステナビリティに優れた企業を銘柄として選定しています。2017年度は調査対象として選ばれた、世界大手企業約3,200社から320社(うち日本企業31社)が選定されており、トッパンは、「Commercial & Professional Services」分野において、日本企業で唯一の選出となりました。



グループ総合力

トッパングループ各社の強みを結集

トッパングループは国内に約200社、海外に約140拠点を展開。各社独自の競争力を発揮するとともに、所有する経営資源の有効活用と強みを活かした連携で、さまざまなソリューションを提供していきます。海外においては、「欧州・米州・中国・東南アジア」4極の事業体制を構築し、グローバルビジネスのさらなる拡大を目指しています。



グループ紹介

凸版印刷株式会社

1900年、当時の最先端印刷技術「エルヘート凸版法」をもってトッパンは創業しました。「印刷術」が「印刷技術」に進化し、そこにマーケティング・IT・クリエイティブ、さらにさまざまな加工技術が融合・進化した姿を、トッパンでは「印刷テクノロジー」と呼んでいます。この「印刷テクノロジー」にお客さま視点を加えることで、社会やお客さまの課題解決につながる「トータルソリューション」の提供を行っています。

TOPPAN FORMS

トッパンフォームズは凸版印刷とカナダのムーア社の合併会社として1965年に誕生以来ビジネスフォームのリーディングカンパニーとして、情報を核に事業展開しています。

図書印刷

お客さまのご要望にお応えしながら、印刷技術を活かしたモノづくりを進めています。書籍や雑誌などの出版印刷、カタログやパンフレットなどの商業印刷を中心に事業を展開しています。

東京書籍

教科書出版のリーディングカンパニーとして、小・中・高校教科書発行部数は業界首位。一般書籍も手掛ける総合出版社であり、ICT事業、評価事業等にも積極的に取り組んでいます。

TAMAPOLY

タマポリは、最新の設備と生産技術で次世代のフィルム開発に挑戦しています。特にポリエチレンを主原料とした高精度特殊フィルムは、食品パッケージなど、さまざまな生活シーンで採用されています。

株式会社トッパンTDKレーベル

トッパンTDKレーベルは、ラベル事業、磁気やICカード・ICタグなどのメディア事業、精密研磨剤などの工業材料事業を通じて、お客さまの生活を豊かにする製品とサービスを提供しています。

TOPPAN TRAVEL SERVICE

トッパントラベルサービスは、ビジネストラベルマネジメント(BTM)・出張・業務渡航・団体旅行・企業活動や研究活動等に関連するビジネスイベント(MICE)など、お客さまの旅行をトータルサポートします。

ORTUSTECH

オルタステクノロジーは凸版印刷とカシオ計算機との協業により2010年に設立されました。高機能・高画質・低消費電力の中小型液晶ディスプレイを開発・製造・販売しています。

フレール館

フレール館は児童図書、保育図書の出版および、幼稚園・保育所に向けた保育用品、教材、遊具などの開発に携わり、子どもたちの健やかな育ちに役立つ商品を提供しています。

株式会社トッパン・コスモ

トッパン・コスモはトッパングループ唯一の商社として豊富なリソースを活用し、お客さまのビジネスを加速させるソリューションを提案します。

BookLive

BookLiveは、蔵書数、国内最大級である電子書籍ストア「BookLive!」を運営し、いつでも、どこでも、誰にでもお使いいただける電子書籍サービスの提供をしています。

TOTAL MEDIA DEVELOPMENT INSTITUTE

トータルメディア開発研究所は、企業や地域の文化資産を活かし、ミュージアムをはじめとするコミュニケーション環境づくりを通じて、お客さまの抱えるさまざまな課題を解決します。

T&T Enerotechno

T&Tエナテクノは、リチウムイオン二次電池の各種外装材を製造・販売し、世界初の外装材トータルサプライヤーとして事業拡大を目指します。

Mapion

日本初のインターネット地図情報サービスをはじめ、地図や位置情報を活用したサービスやアプリを生活者や企業に提供し、多様なマーケティングサービスを展開しています。

芸術造形研究所

「アートを通じて社会に貢献する」ことをミッションに掲げ、「臨床美術」が創る健康で感性豊かな未来を提案し、よりよい社会づくりに貢献することを目指しています。

TOYOINKGROUP

東洋インキグループはサイエンスカンパニーとして、グローバルな視点でさまざまな文化や人々の役に立つ生活文化創造企業を目指しています。

(ほか167社) 2018年3月末時点

会社概要

事業概況

所在地	(本店)東京都台東区台東1丁目5番1号 〒110-8560 (本社事務所)東京都千代田区神田和泉町1番地 〒101-0024	代表者	代表取締役社長 金子真吾
創業	明治33年(1900年)	資本金	104,986(百万円)
		従業員数	連結51,210名(2018年3月末現在)

主な国内生産拠点

株式会社トッパンコミュニケーションプロダクツ	株式会社トッパンパッケージプロダクツ	株式会社トッパンエレクトロニクスプロダクツ
札幌工場* / 仙台工場* / 嵐山工場* / 坂戸工場* / 朝霞証券工場* / 朝霞工場* / 川口工場* / 板橋工場* / 名古屋工場* / 滝野証券工場* / 滝野工場* / 福岡工場* / 羽村情報センター*	千歳工場* / 仙台工場* / 群馬センター工場* / 相模原工場* / 深谷工場* / 幸手工場* / ミヶ日工場* / 松阪工場* / 滝野工場* / 福崎工場* / 福岡工場* / 玉名工場*	新潟工場* / 朝霞工場* / 滋賀工場* / 三重工場(亀山* / 久居*) / 熊本工場* ほか

*印はISO14001取得工場

所在地一覧

■本社 東京都千代田区神田和泉町1 〒101-0024	■西日本事業本部 大阪府大阪市北区中之島2-3-18 〒530-0005	■中部事業部 愛知県名古屋市西区野南町19 〒452-0847 営業所：静岡 浜松 長野 松本 三重
■総合研究所 埼玉県北葛飾郡杉戸町高野台南4-2-3 〒345-8508	■関西事業部 大阪府大阪市北区中之島2-3-18 〒530-0005 営業所：北陸 京都 神姫	■東日本事業本部 宮城県仙台市泉区明通3-30 〒981-3296
■情報コミュニケーション事業本部 東京都文京区水道1-3-3 〒112-8531 営業所：千葉 横浜	■九州事業部 福岡県福岡市中央区薬院1-17-28 〒810-0022 営業所：北九州 佐賀 長崎 熊本 大分 宮崎 鹿児島 沖縄	■東日本事業部 宮城県仙台市泉区明通3-30 〒981-3296 営業所：青森 盛岡 秋田 山形 郡山 新潟 水戸 宇都宮 高崎 大宮
■生活・産業事業本部 東京都台東区台東1-5-1 〒110-8560	■中四国事業部 広島県広島市安佐南区祇園3-26-30 〒731-0138 営業所：福山 松江 岡山 山口 高松 松山 高知	■北海道事業部 北海道札幌市西区二十四軒4条1-1-30 〒063-8555 営業所：道東 函館
■エレクトロニクス事業本部 東京都港区芝浦3-19-26 〒108-8539 営業所：名古屋 京都 西日本		

健康管理を経営的な視点で考え、
戦略的に取り組んでいる企業として、
「健康経営銘柄2018」と
「健康経営優良法人2018 ～ホワイト500～」に認定されました。

